

9) 情報

ア 今年度の取り組み

今年度の情報の授業も、「教科書の内容と関連する実習」と「テーマに沿った実習」を行った。

イ 教科書の内容と関連する実習

・文字の表現…ワープロソフト WORD による文章の作成実習である。ただ文章を入力するだけでなく、図や画像の挿入、EXCEL からの表やグラフの挿入について学習した。レジュメ・レポートによる表現に役立つ。

・音声の表現…音声録音ソフトによる音声の取り込みとエフェクトによる加工の仕方を学習した。また、DAW (Digital Audio Workstation) ソフトのピアノロール入力を使用した楽譜入力の実習も行った。さらに今年度はソフトウェアシンセサイザによる音の合成も行った。そのために行ったこととして、

①ビデオによる「倍音」の学習

同じ音程なのに違う音（音色が違う）なのは、倍音成分の違いである。数学的に \sin 波を重ねて説明も出来るが、音としての変化はわかりにくい。ビデオでは、倍音を重ねることができる「ハモンドオルガン」を使って、わかりやすく説明されていた。実際に操作できると良いと思い、ハモンドオルガンと同じ「ドローバー」を操作して倍音を合成できるオルガンを1台PC教室に置き、休み時間などに操作できるようにした。興味のある生徒は、授業前後の休み時間に操作していた。

②シンセサイザの構成要素の説明

シンセサイザは、音の発生、音色の変化、音量の変化をVCO、VCF、VCAで司っている。さらに、それらの変化をEGやLFOで行っている。これらの基本構成要素について簡単に説明した。

③ソフトウェアシンセサイザによる音の発生

コミュニケーションサイト「musictrack」で提供しているフリーソフトシンセサイザ「MT-1」による音の発生実習を行った。作成した音を波形で見ることも出来るため、見ても楽しむことができる。

これがすぐに音楽表現につながることはないと思うが、サウンド・BGM等を使用するきっかけになればと考えている。

・画像、動画の表現…フォトタッチソフトによる画像の編集実習やフレームアニメーション作成ソフトによる実習、ビデオ編集ソフトによる実習を行った。

・グラフによる表現、統計量による表現…表計算ソフトによる実習を行った。

これらの実習においては、当然のごとく個人差が発生する。ALによる授業展開より、早く実習内容を終えた者が他者を教えに行く形が取れると良いのではと考えている。

ウ テーマに沿った実習

例年「職業研究」、「HP作成実習」、「沖縄タクシー研修調べ」を行っている。

①職業研究

将来の就職を見据えて、自分のなりたい職業・自分に合った職業を考える実習である。内容をまとめてレポートを提出させている。本校では関連する大学・学科まで調べさせ、7月に行われる3者懇談の資料の一つとしている。また、この実習は1年次の総合的な学習の一環として、「レポートのまとめ方」「ネット検索」の時間も兼ねている。

②HP（ホームページ）作成実習

昨年度までは、ホームページ作成ソフトかWORDを使用して行っていた。しかしPCの更新によりホームページ作成ソフトが無くなり、WORDでは文章作成と変わらなかったため、今年度はhtml言語で行った。あまり複雑なことは行えず設定した目標は、

- (1) トップページ、感想ページを含めて5ページ以上作成。
- (2) ページ間のリンクは、相互リンクとすること。(戻るリンクの作成)

とした。そのためこの評価は、以下のルーブリックを生徒に示して行った。

観点	S	A	B	C
ページ数	感想ページを含み6ページ以上あり、内容が充実している	感想ページを含み6ページ以上ある	感想ページを含み5ページある	感想ページがないまたは5ページ未満である
リンク	リンク先からの戻りリンク(相互リンク:トップページと各ページ等)がすべて貼られており、さらに工夫(図からのリンク、ページ間のリンク、ページ内リンク等)がある	リンク先からの戻りリンク(相互リンク:トップページと各ページ等)がすべて貼られている	トップページからのリンクが貼られている	リンクが貼られていない
統一性	すべてのページが統一されており、デザインが優れている	すべてのページが統一されている	一部統一されていないページがある	各ページが全く統一されていない
興味	閲覧者を引き込む魅力がある	閲覧者を引き込み興味を持たせている	閲覧者を引き込む努力がみられる	自己満足なページである

③沖縄タクシー研修調べ

2年次の5月の修学旅行でのタクシー研修を題材にして、グループでのプレゼンテーションを行わせている。行き先の決定、スライド作成の分担、リハーサルなどグループごとに話し合えた。

エ 考察

今回HP実習において、生徒にルーブリックを示した。「5ページ出来たけど、あと1ページ増やせばAになる」「全部のページに戻るリンクを付けないと」など、生徒の意欲を喚起することができた。(文責:石川)